

開催年月日 令和元年7月10日(水)

質問者 日本共産党 宮川 潤 委員

答弁者 知 事 鈴木 直道

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p><b>四 国民健康保険について</b></p> <p><b>(一) 道単位化による保険料値上げについて</b></p> <p>国民健康保険の保険料の高騰抑制などのために一般会計からの法定外繰り入れについて、2016年度62市町村から今年度32市町村に繰り入れを実施している市町村が減りました。</p> <p>保険料について、札幌、旭川、函館、苫小牧、釧路、帯広市の調査ですけれども、6市の中で4市が今年も値上げになっているということです。</p> <p>これらのことから、道単位化後の6年間で一般会計からの繰入が減り、保険料は平準化するとしていますけれども、実際には値上げするということになるのではないですか。</p> <p>道単位化の結果として、全道的に保険料は値上げされるということを、想定していますか、うかがいます。</p> <p>いくつかの市町村で激変緩和措置を執るのかはまだわかりませんが、激変緩和措置を執るということは大幅な値上げをするところが出てくると、そう想定しているということになると思います。</p> <p><b>(二) 一般会計繰入を阻害しないこと</b></p> <p>各市町村の判断で行われている一般会計からの法定外繰り入れについて、道がそれをやめさせるように無理強いしてはならないと思いますけれども、そういうことはありませんか。</p> <p>市町村の意向を十分尊重すべきですけれども、していますか、伺います。</p> <p>保険料は市町村が決定をするということですが、確認致します。</p> <p><b>【再質問】</b></p> <p><b>(二) 一般会計繰入を阻害しないこと</b></p> <p>一般会計からの法定外繰り入れも、市町村が決定する、ということによろしいですか。</p> <p>法定外繰り入れをするかどうかという決定も市町村だ、という趣旨でありました。</p>	<p><b>【知事】</b></p> <p>国民健康保険料についてであります、道では、今後の医療費の増加などに対応するため、令和5年度までの間、加入者負担の急激な増加を避けるための激変緩和措置を設けているところであります。</p> <p>道といたしましては、全国知事会と連携をして、国の財政支援について、引き続き拡充を求めるとともに、市町村や関係団体と連携をし、生活習慣病の予防など、医療費適正化をはじめ、収納率向上対策や保険料水準の平準化に取り組むなど、新たな国保制度の安定的な運営に努めてまいります。</p> <p><b>【知事】</b></p> <p>市町村の一般会計からの繰入についてであります、市町村と協議をし、策定をした国保運営方針においては、単年度の決算補填や保険料の負担緩和を目的とした市町村の法定外繰入については、加入者負担に配慮をしながら、段階的な解消に取り組むこととしております。</p> <p>保険料は、引き続き、市町村が決定をしますことから、道といたしましては、今後とも、市町村とも十分な協議を行い、保険料の急激な上昇に配慮をしながら、地域の実情に応じて、市町村に対し、必要な助言を行ってまいりたいと考えております。</p> <p><b>【知事】</b></p> <p>市町村の一般会計からの繰入についてであります、保険料は、市町村が決定をするものであり、その際には、法定外繰り入れも含め、適切に判断をされるものと考えております。</p>

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>(三) 子どもに係る保険料軽減の意義について 次に子どもの均等割保険料についてでありますけれども、子どもの均等割保険料の軽減を実施する市町村が道内でも現れています。その意義について知事の見解をうかがいます。</p> <p>子育て家庭の経済的負担軽減を図ることは大変重要ということでありました。</p> <p>(四) 道としての保険料軽減の取り組みについて 知事が、全道の保険料軽減が実施されるよう役割を果たしていただきたいと考えます。 市町村が実施する子どもに関わる保険料軽減に対して道から支援を実施して、その推進役となるべきではないですか見解を伺います。</p> <p>この子どもの均等割保険料の軽減措置については、知事ご自身も意義については十分お認めになっているところでありますが、これを国に要望するというだけでなく、自ら実行するということを求めて質問を終わります。以上であります。</p>	<p><b>【知事】</b> 保険料についてであります。国民健康保険法では、保険料は、子どもを含むすべての加入者の数に応じて負担をすることとされておりますが、所得の低い世帯については、保険料が軽減されているところであります。 道といたしましては、少子化対策を一層推進する上で、子育て家庭の経済的な負担軽減を図ることは大変重要と考えており、これまで、均等割保険料のうち、子どもの分の軽減措置の導入を知事会と連携をして国に要望をしてきており、今後とも、子どものいる世帯の負担軽減が図られるよう、国に求めていく考えであります。</p> <p><b>【知事】</b> 保険料についてであります。国では、国保基盤強化協議会において国保の負担のあり方を議論していることから、保険料の負担軽減についても、こうした協議の場で検討されるものと考えているところであります。 私といたしましては、子どもに係る均等割保険料の軽減措置は、他の医療保険制度との公平性や子どものいる世帯の負担軽減を行う観点から、国の責任において、実施すべきものと考えておりました。今後とも、知事会とも連携をして、国に要望してまいります。</p>